

2013年3月期 通期

(2012年4月～2013年3月)

# 決算説明資料

株式会社 アドテック



# 1: 事業概要

## 1: 事業概要

## 2: 決算概要

## 3: 2014年3月期予想

### —ADTEC, Memory & Technology—

アドテックは、「お客様本位」・「品質第一」を基本方針とし、お客様のニーズに対応する、高品質で価格競争力のある優れた製品(メモリモジュール製品、フラッシュメモリ製品、その他製品)を開発し、きめ細やかな対応をもって市場に展開してまいります。

会社名 : 株式会社アドテック  
 代表者名 : 代表取締役社長 小野 鉄平  
 創立年月日 : 昭和58年2月17日  
 資本金 : 7億円  
 従業員数 : 29名(平成25年3月31日現在)  
 本店所在地 : 東京都港区海岸三丁目9番15号  
 事業内容 : 電子部品及びコンピューター関連製品の  
 開発・製造・販売  
 営業所 : 大阪営業所、福岡営業所  
 監査法人 : 優成監査法人



メモリ製品の開発・設計及び製造管理



メモリ製品の開発・設計及び製造管理における環境対策

## 2: 2013年3月期決算概要—P/L—

1: 事業概要

2: 決算概要

3: 2014年3月期予想

新規案件・取扱商材拡大・売上単価の下落により売上増加するも売上総利益は減少、経費削減及び経費の適正化を図るも売上総利益減をカバーしきれず

(単位:百万円)	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	前年同期比	主要因
売上高	1,550	1,593	102%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DRAM価格等の下落によるメモリ製品販売価格及び粗利の下落</li> <li>●OEM案件の販売単価の下落</li> <li>●新規製品の販売</li> </ul>
売上総利益 売上総利益率	339 21.9%	274 17.2%	80%	
販管費	324	267	82%	経費削減
営業利益 営業利益率	15 0.1%	7 0.0%	48%	● 営業利益の減少
営業外損益	2	△7	—	● 為替差損の発生
経常利益 経常利益率	17 0.1%	0 0.0%	—	● 経常利益の確保
当期純利益 当期純利益率	16 0.1%	△44 —	—	● ビーゴ社に対する債権について貸倒引当金の引き当て

## 2: 2013年3月期決算概要—品目別販売状況—

1: 事業概要

2: 決算概要

3: 2014年3月期予想

### メモリモジュール、フラッシュメモリの営業強化 新規案件、新規取引先、新規事業(製品)の取り組み強化

(単位:百万円)	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期実績	前年 同期比	主要因
メモリモジュール	519	426	82.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要低迷による販売数の低下</li> <li>・DRAM価格下落による販売単価の低下</li> </ul>
フラッシュメモリ	778	784	100.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OEM顧客向け販売案件の継続受注を獲得</li> <li>販売単価は下落</li> </ul>
その他	253	382	151.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業、新規製品の販売強化</li> </ul>
売上高合計	1,550	1,593	102.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモリモジュール製品の売上減少を他製品でカバー、フラッシュ製品はほぼ横ばい</li> </ul>

1: 事業概要

2: 決算概要

3: 2014年3月期予想

自己株式の購入＝純資産額の減少

(単位：百万円)

項目	2012年3月期	2013年3月期	増減	主要因
流動資産	1,330	1,154	△176	
現金及び預金	781	647	△134	現預金の減少
受取手形・売掛金	286	246	△40	売上債権の増加
棚卸資産	144	138	△6	原材料の現象
その他流動資産	119	123	4	前渡金等の増加
有形・無形固定資産	53	30	△23	有形・無形：減少
投資等その他の資産	43	20	△23	敷金の減少ほか
資産計	1,426	1,204	△222	
流動負債	234	171	△63	
買掛金	37	35	△2	仕入債務の減少
短期借入金	112	100	△12	借入金返済
その他流動負債	85	36	△49	未払費用等の減少
固定負債	49	46	△3	資産除去債務の減少
株主資本	1,144	986	△158	
資本金	700	700	0	
資本剰余金	541	541	0	
利益剰余金	33	△11	△44	当期純損失
自己株式	△130	△244	△114	自己株式購入
評価・換算差額等	△1	1	2	
純資産合計	1,143	987	△156	
負債及び純資産計	1,426	1,204	△222	

## 2: 2013年3月期決算概要—C/F—

1: 事業概要

2: 決算概要

3: 2014年3月期予想

営業C/Fの増加 (売上債権の減少・貸倒引当金の増加)、投資C/Fの減少 (有形固定資産・投資有価証券の取得)、財務C/Fの減少 (短期借入金の返済・自己株式の取得)

(単位:百万円)

項 目	2012年3月期 通期実績	2013年3月期 通期実績	当期増減の主要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17	<b>28</b>	賞与引当金の減少 (12) 貸倒引当金の増加 (35) 売上債権の減少 (40)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	<b>△38</b>	有形固定資産の取得 (21) 差入保証金の回収 (22) 投資有価証券の取得 (30)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	<b>△124</b>	短期借入金の減少 (11) 自己株式の取得 (113)
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	<b>0</b>	
現金及び現金同等物の増減額	△45	<b>△134</b>	
現金及び現金同等物の期首残高	826	<b>781</b>	
現金及び現金同等物の中間期末残高	781	<b>647</b>	

1: 事業概要

2: 決算概要

3: 2014年3月期予想

**お客様本位(全員営業) 品質第一**

◎製品開発力の維持向上 ◎品質の向上と安定 ◎速やか、きめ細やかな対応

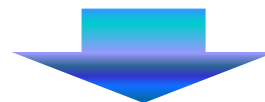
**メモリー関連製品** ※B to B ビジネス (OEM向けインダストリアルメモリー製品の拡充)

- 【メモリーモジュール】 ・サーバー用メモリーモジュール ・組込PC用メモリーモジュール ・カスタマイズ製品(OEM向け製品)
- 【フラッシュメモリー】 ・インダストリアル向けSD(micro SD)カード ・インダストリアル向けCFカード
- ・低容量、高容量フラッシュカード ・SSD・SATAインターフェース製品
- ・一般用SD(micro SD)カード

**新規製品、新規取引先、M&Aの積極展開等の取り組み強化**

- ☆新規顧客・販路拡大
- ☆新規案件の獲得
- ☆M&Aの積極展開

- ☆経費節減(総経費の適正化)
- ☆原価低減
- ☆在庫管理



- ◎安定した収益の確保と業績の拡大
- ◎成長戦略に向けての基礎構築の継続

### 3: 2014年3月期予想 (2)

1: 事業概要

2: 決算概要

3: 2014年3月期予想

#### ◎利益の確保

- \* 新規案件、新規取引先、M&Aの積極的展開等の取り組み強化
- \* 原価低減、経費の適正化

(単位:百万円)

	2013年3月期 実績	2014年3月期 予想	前年比
売上高	1,593	1,680	107%
売上総利益	274	252	91%
売上総利益率	17.2%	15.0%	
販管費	267	237	88%
営業利益	7	15	214%
営業利益率	0.1%	1.7%	
経常利益	0	8	—
経常利益率	0.0%	0.0%	
当期純利益	△44	4	—
当期純利益率	—	0.0%	

#### 主要施策

- メモリ・フラッシュ製品  
OEM新規案件の獲得  
B to B ビジネス
- M&Aを通して新規事業
- 適正在庫 …… IPS管理

- 内部統制システムの見直しによる業務の効率化
- 人員及び総経費の適正化

利益確保



本資料の閲覧誠にありがとうございました。

<http://www.adtec.co.jp>

---

本資料の取扱上のご注意

本資料に記載された意見や予測などは資料策定時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、予告なしに変更される可能性もございます。